

なぜ、弁護士が
ドキュメンタリー映画を
作らねばならなかったのか？



伝えたいのは隠された真実

脱原発裁判の先頭に立つ弁護士 河合弘之 初監督作品

河合監督来場!!
13時~監督トーク

映画 日本と原発

2015年 7月20日(月・祝) 一回目上映10時~/監督トーク13時~/二回目上映14時~
上映時間 2時間15分 河合監督のご都合により、講師変更になる場合があります。

松本市中央公民館(Mウイング)6階ホール 松本市中央1丁目18番地1 電話 0263-32-1132

チケット 前売 800円 当日1,000円 高校生以下無料

問合せ・チケット予約

電話 0263-33-8154(西村) 0263-87-2437(伊藤) 090-4628-8549(水谷)
メール anima3521@gmail.com

主催 原発のない未来をめざす会 共催 脱原発信州ネットワーク・松本
後援 松本市 松本市教育委員会 信濃毎日新聞社 松本平タウン情報 市民タイムス

映画

「日本と原発」

製作・監督:河合弘之 構成・監修:海渡雄一 制作協力:木村結 音楽:新垣隆
脚本・編集・監督補:拝身風太郎 制作:Kプロジェクト

※この映画は、原発についての報道・広報に対する批判的検討をも目的としています。

これ1本で原発を取り巻くすべての問題を提起します。
映画ご鑑賞後、ご自身でご判断ください。

有名企業を取り巻く多くの裁判で勝ち続け
辣腕弁護士と呼ばれた河合弘之。

しかし、河合の人生後半戦の一大事業と位置付けた原発訴訟は、
負け続けだった。

何年続けても、どんなに方法論を工夫しても、勝てなかった。
逆襲弁護士と呼ばれるタフな河合だが、
負け続ける原発訴訟にその闘志は弱まっていた。

そして、2011年3月11日。
東京電力福島第一原子力発電所で
原子力発電史上最悪の事故が起きた。
河合は決心した。「絶対にあきらめない」。

これは、弁護士河合弘之と盟友弁護士海渡雄一、訴訟を共に闘
う木村結の3人が、多くの関係者、有識者にインタビュー取材
を行い、現地での情報収集や報道資料等を基に、事故に巻き込
まれた人々の苦しみ、原発事故を引き起こした背景、改善され
ない規制基準、エネルギー政策のウソと真実を追求したドキュ
メンタリーである。

「裁判はたったひとりでも正義をかけて闘える民主主義社会の
安全弁みたいなものだ。だから、僕はひとりでも闘う。でも、
それだけじゃ、みんなに伝わらない。ひとりでも多くの人に真
実を伝えるには、やはり、映画しかない」(河合弘之)。

私たちは原発で幸せですか？

■お話をうかがった方々：

青木秀樹 アナトーリー・チュマク 飯田哲也 エフゲーニャ・ステパノワ
大島堅一 川口登 小出裕章 コンスタンティン・ロガノフスキー
古賀茂明 鈴木大介 高野仁久 田中三彦 馬場有 (敬称略)



写真：浪江町／2014.09月撮影 ©Kプロジェクト

前売チケットはホームページから予約できます。 <http://primavera36flor.wix.com/primaveraflor>



ni hont ogenpat su,